



市民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに、そして希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は半田市政に対し格別のご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年6月24日に市長に就任させていただき、榊原純夫前市長から市政の舵取りを引き継ぎました。いきなり襲ってきた新型コロナウイルス感染症の第5波でしたが、半田商工会議所と半田市医師会の協働による全国的にも珍しい職域接種の取り組みや、関係各位のご協力により、ワクチン接種も順調に進み、11月には、多くの制限が解除されました。感染拡大防止にご協力をいただきました皆様に深く感謝を申し上げます。第6波が心配ではありますが、様々な活動を工夫するなどして再開し、さらに発展させ、半田市をよりよいまちにするよう前へ進めてまいります。

そんな中、私と皆様のお約束であった、地域振興券事業を昨年11月からスタートすることができました。事業者の方から、「振興券効果で売り上げが増えました」など、嬉しい声も数多く届いております。市民の皆様、ぜひこの機会にいつもと違うコト・モノに振興券を使って、経済の活性化と皆様の気持ちで、半田市を盛り上げてください！

さて、本年2022年に半田市は市制85周年を迎えます。5年に一度の第九回はんだ山車まつりは来年に延期となりますが、多くのイベントが企画されています。この記念すべき年をオール半田で祝うとともに、半田市を築き上げていただいた先人に感謝をし、私たちが我がまちを次世代に繋ぐ想いを改めて共有していきたいと思います。一緒に歴史を感じ、そして新たな歴史を刻んでまいりましょう。

私自身は4回目の年男になりました。年男は、「年神様のご加護をより多く受ける」ことから、「何か新しいことを始めるのも良い」と言われているようです。半田市が掲げる将来都市像「チャレンジあふれる都市・はんだ」を目指すには絶好のチャンス!と捉え、果敢にチャレンジをする1年にしたいと思います。皆様も一緒に多くのチャレンジをしていきましょう! よろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様にとりまして、健康で明るく、幸多き年になりますようお祈り申し上げ、年頭に当たっての挨拶とさせていただきます。